

(事業者向) 放課後等デイサービス自己評価表・集約

1

はる港南 (2024年1月実施・無記名方式) 2023 2022

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	特記事項 (改善目標、工夫内容等)	2023	2022
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9				9	8
	② 職員の配置数は適切であるか	9			マンツーマン対応が必要な場合にアンバランスを感じるような形がありますが、スタッフの能力UP・フロアコントロール強化が必要。	1.00	1.00
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			9	日常生活の中に存在する段差等をいたずらに取り除かないという点と現状の利用状況から、適切なレベルと考えていますが、状況に応じ見直しを図ります。	0.00	0.13
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか	9			月次ミーティングは全員出席でサイクルを回すような形になっていますが、全体像がみえるような進め方を工夫します。	1.00	1.00
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			集約の結果を月次ミーティングなどで検討しています。	1.00	1.00
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			現時点は、集約結果を保護者への配布としていますが、HP公表も検討中。	1.00	0.88
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			9	コンサルティング会社の変更を検討中のため、現時点、第三者評価の形はとっていません。	0.00	0.00
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			内部で研修等行うほか、外部研修等の紹介・助成等おこなっています。	1.00	0.88
適切なサ	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	9			アセスメント、スタッフ協議、個別面談等の流れの中で個別計画作成していますが、継続的に改善を重ねていく重要なプロセスと考えています。	1.00	1.00
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9			標準化したアセスメントツールを使用しています。	1.00	1.00
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			児童発達支援管理責任者とオペレーション責任者が中心に立案していますが、一層の情報共有が必要。	1.00	1.00
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			児童が見通しを立てやすい点と改善を重ねるといった点から、バリエーション強化と同時に、一定の固定化を図っています。	1.00	1.00
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9			年間→月・週→日のレベルで具体化しています。	1.00	1.00
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しているか	9			個別・集団活動は適時組み合わせで行っておりますが、活動に合わせた柔軟なグループ化など工夫していきたいと思っております。	1.00	1.00

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	特記事項（改善目標、工夫内容等）	9	8
支援の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			出勤時、引継事項に目を通す中で職員間での情報交換をします。出勤時間が異なる場合もあるので引継事項・デイリースケジュール等をできるだけ具体的に作成するよう工夫しています。	1.00	1.00
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			送迎等により退出時間も異なるため、引継事項を記録に残し、気になることがあれば、個々に相談してくるようにしています。	1.00	1.00
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			記録は正確にとり、また、個別支援計画とオペレーションが連動するように工夫しています。	1.00	1.00
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9			特別なことがなければ、6ヵ月で計画の見直しを行っています。	1.00	1.00
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	9			ガイドラインについては月次研修等で確認していきます。	1.00	1.00
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			原則、児童発達支援管理責任者が出席するようにしています。	1.00	1.00
関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9				1.00	1.00
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			9	医師等との連絡体制はありますが、現在、施設内での医療的ケアが必要な子どもの在籍はありません。	0.00	0.00
	㉓	保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	8		療育センターから引継ぎを受ける機会を設けています。	0.11	0.00
	㉔	障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9			定型的な形にはなっていませんが、卒業後、進路先には何うようにしています。	1.00	0.63
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9			前述のとおり、療育センターから助言・情報提供を受けています。	1.00	0.75
	㉖	障がいのない子どもと活動する機会があるか			9	公園などの接点・場を共有する機会がありますが、交流という形ではありません。	0.00	0.00
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	9			基本的には、誰かが出席するようにしています。	1.00	1.00

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	特記事項（改善目標、工夫内容等）	9	8
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			定期的な面談、送迎時の情報交換で一定の共有ははかれていると思います。	1.00	1.00
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		9		ペアトレについては、組織的で根拠に基づく働きかけであることなど定義づけを行っています。現在は情報提供のレベル。重要課題です。	0.00	0.00
	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9				1.00	1.00
保護者への説明責任等	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			保護者サイドのスタンスにもよりますが、家庭内のかなり立ち入ったことにより、関与する場合があります。	1.00	1.00
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			9	保護者会というような形での開催はしておりませんので、どのような形で行うかは今後の課題です。	0.00	0.00
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			迅速な対応を心がけています。	1.00	1.00
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			毎月、活動の様子を会報で発信しています。	1.00	1.00
	㉗	個人情報に十分注意しているか	9				1.00	1.00
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9				1.00	1.00
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		8	1	住宅地にあるので、日常的に接点はありますが、行事に招いたりというような形はとっていません。	0.00	0.13
	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9			職員には周知、保護者へは必要と考えらる範囲で連絡していますが、今後、積極的な情報発信をしていきたいと考えています。	1.00	1.00
非常時等の対応	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			原則、年2回×2日で行っています。	1.00	1.00
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			月次ミーティングなどで研修を行っています。	1.00	1.00
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか			9	事例などの説明はしていますが、これまで必要性のある子どもの在籍はありません。	0.00	0.25

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	特記事項（改善目標、工夫内容等）	9	8
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9			医師の指示書とは限りませんが、利用開始時に保護者に確認した内容で対応しています。	1.00	1.00
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			ヒヤリハットは、記述→回覧→ファイリングで情報共有しています。	1.00	1.00

【総括】回収9、傾向把握のため最大値を【緑】表示、「はい」前年比10%増【青】減【黄】表示。

- ・ ②⑥③②③⑦は保護者ニーズがわかる項目、③②②③③④①④②は項目として該当しない場合がある。